



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月6日

上場会社名 株式会社はるやまホールディングス
 コード番号 7416 URL <http://www.haruyama.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 宏明
 問合せ先責任者 (役職名) 総合管理グループ長CFO (氏名) 西山 剛生
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 086-226-7101

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	7,417	0.3	1,468		1,379		1,395	
2021年3月期第1四半期	7,393	36.9	1,536		1,450		1,432	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,410百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 1,441百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	85.38	
2021年3月期第1四半期	87.77	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	54,869	29,965	54.6
2021年3月期	57,934	31,626	54.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 29,958百万円 2021年3月期 31,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		15.50	15.50
2022年3月期					
2022年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期の配当予想については、現時点では未定としております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	12.5	100		350		100		6.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	16,485,078 株	2021年3月期	16,485,078 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	143,714 株	2021年3月期	149,214 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	16,338,614 株	2021年3月期1Q	16,320,189 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたものの、2021年4月に3度目の緊急事態宣言が発出されるなど、その収束時期は依然として不透明な状態が続いております。衣料品小売業界におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための外出自粛や、臨時休業、営業時間短縮に伴い厳しい状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループにおきましては前期に引き続き『健康』をキーワードに差別化戦略を行いました。特に基幹ブランドのはるやまでは、『ビジネスパーソンの健康をサポートする』を実現すべく、商品を機能面から、『自在に伸びるニットライン』『軽量ライン』『制菌・抗菌 清潔ライン』等にカテゴリズを行い、店舗のレイアウトとVMD (Visual Merchandising) を整理しました。

その他の商品面では、当社グループオリジナルブランドで、多様化するビジネスシーンでも健康で快適に働けるビジネスウェアを提案している『TOKYO RUN』と、人気のデニムブランドである『EDWIN®』とのコラボ新商品として、シワになりにくく、2WAYストレッチ仕様でストレスフリーな着心地を目指した『デニム調パッカブルセットアップ』を販売開始いたしました。

当社グループでは今後も、お客様のニーズに対応した商品開発などを通して、顧客満足度の向上を目指してまいります。

店舗数に関しましては、グループ全体で3店舗新規出店した一方で、2店舗を閉店した結果、当第1四半期連結会計期間末の総店舗数は446店舗となりました。

なお、当社グループは衣料品販売事業以外に広告代理業等を営んでおりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高74億1千7百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。利益面では、営業損失14億6千8百万円（前年同四半期は営業損失15億3千6百万円）、経常損失13億7千9百万円（前年同四半期は経常損失14億5千万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失13億9千5百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失14億3千2百万円）の結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、主に現金及び預金が10億7千2百万円減少したこと等により、流動資産が26億7千3百万円減少いたしました。加えて固定資産は3億9千1百万円減少し、その結果、総資産は前連結会計年度末に比べて30億6千5百万円減少し、548億6千9百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が9億1千4百万円減少したこと、資産除去債務が1億1千7百万円減少したこと、返済により借入金が4億円減少したこと、未払法人税等が6千4百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて14億3百万円減少し、249億3百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失が13億9千5百万円あったことに加え、2億5千3百万円の期末配当を実施したこと等により、299億6千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点におきまして2021年5月14日に発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社グループにおいては、事業の性質上、下半期（10月～3月）の売上高、利益が上半期（4月～9月）に比べて大きいという季節的な要因があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,813,268	10,740,321
受取手形及び売掛金	134,083	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	141,858
商品	12,660,074	13,154,640
貯蔵品	61,386	38,231
その他	4,967,914	2,887,104
貸倒引当金	△57,556	△56,788
流動資産合計	29,579,170	26,905,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,216,261	3,108,801
土地	11,198,671	11,035,464
その他(純額)	419,996	421,348
有形固定資産合計	14,834,929	14,565,614
無形固定資産		
のれん	191,457	162,738
その他	944,237	907,314
無形固定資産合計	1,135,695	1,070,053
投資その他の資産		
差入保証金	6,643,035	6,609,737
その他	5,742,709	5,719,592
貸倒引当金	△1,055	△1,055
投資その他の資産合計	12,384,689	12,328,275
固定資産合計	28,355,315	27,963,943
資産合計	57,934,485	54,869,312
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,767,590	5,853,235
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,415,238	2,708,423
未払法人税等	116,735	52,115
ポイント引当金	480,991	71,683
契約負債	—	487,664
賞与引当金	6,400	8,470
店舗閉鎖損失引当金	400,386	392,112
資産除去債務	561,356	443,690
その他	3,141,805	2,441,309
流動負債合計	14,490,502	13,058,704
固定負債		
長期借入金	8,591,164	7,897,215
退職給付に係る負債	1,484,343	1,498,150
資産除去債務	1,362,469	1,427,834
その他	379,152	1,021,982
固定負債合計	11,817,130	11,845,184
負債合計	26,307,633	24,903,888

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,991,368	3,991,368
資本剰余金	3,862,125	3,862,125
利益剰余金	23,939,386	22,288,009
自己株式	△161,653	△155,695
株主資本合計	31,631,226	29,985,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,432	△27,040
繰延ヘッジ損益	51	34
その他の包括利益累計額合計	△11,380	△27,006
新株予約権	7,007	6,622
純資産合計	31,626,852	29,965,423
負債純資産合計	57,934,485	54,869,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	7,393,735	7,417,497
売上原価	3,258,763	3,185,959
売上総利益	4,134,971	4,231,537
販売費及び一般管理費	5,671,387	5,700,067
営業損失(△)	△1,536,415	△1,468,529
営業外収益		
受取利息	1,315	1,320
受取配当金	2,884	2,978
受取地代家賃	101,180	102,364
助成金収入	—	960
その他	34,076	42,125
営業外収益合計	139,458	149,749
営業外費用		
支払利息	4,494	7,941
貸貸費用	43,897	47,340
その他	4,889	5,667
営業外費用合計	53,280	60,949
経常損失(△)	△1,450,238	△1,379,730
特別利益		
固定資産売却益	—	54,300
特別利益合計	—	54,300
特別損失		
固定資産除売却損	3,272	23,940
減損損失	55,184	7,591
その他	1,473	2,315
特別損失合計	59,931	33,847
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,510,169	△1,359,277
法人税、住民税及び事業税	39,448	42,758
法人税等調整額	△117,117	△7,018
法人税等合計	△77,669	35,739
四半期純損失(△)	△1,432,499	△1,395,017
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,432,499	△1,395,017

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,432,499	△1,395,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,433	△15,608
繰延ヘッジ損益	△52	△17
その他の包括利益合計	△9,485	△15,625
四半期包括利益	△1,441,985	△1,410,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,441,985	△1,410,642

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高が13,484千円減少し、同額の販売費及び一般管理費が減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は変動しておりません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。また、前連結会計年度までの「ポイント引当金」の一部を当第1四半期連結会計期間より「契約負債」として表示することとし、前連結会計年度まで「前受金」に含めて表示していた一部の負債についても、当連結会計年度より「契約負債」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。